

大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

1. 修学支援

学びの組織的な支援

・担任制

本学は担任制をとっており、学生一人ひとりに担任教員が決まっています。担任教員は、学生生活を送る上で生じたいろいろな悩みや学業、進路のことなどの相談に応じています。全学的に担任面接を行っており、必ず全員の学生が担任面接を受けています。勉強の仕方や成績のこと、進路のことや学校の制度で分からないこと、その他生活上の困ったことなどの相談に応じています。

・オフィスアワー

教員はオフィスアワーを設定し研究室を開放的にすることで学生が相談しやすい環境作りを行っています。学生は、このオフィスアワーを通じて教員とのコミュニケーションを深め、学習や進路のこと、また、学生生活全般についていつでも相談することができます。

・少人数教育

本学では一人ひとりの個性や能力に合わせた、きめ細やかな教育を実践するために「少人数制」を基本にしています。教員と学生の距離が近く、一人ひとりの声を聞いて各々が学習成果を上げられるよう指導に努めています。

学生からの相談を受け、解決の難しい内容については、各専攻のワーク会議で検討し全学的なものには教務委員会で検討していく体制をとっています。

中途退学防止

全学科担任制を導入し、入学時から卒業まで、個人面談やオフィスアワーにより、履修やその他相談を随時受け付ける体制をとることで中途退学防止に努めています。また、保護者との面談も、要望があれば、随時受け付ける体制を設けています。経済的支援を要する学生に対しては、担任、事務担当部署が親身に相談に対応しています。また、学費支援制度を設けています。入学手続き者が入学後の学習にスムーズに取り組めるよう入学前教育も行っています。

入学前教育

入学後スムーズに学習に入れるよう、入学前教育を実施しています。専攻により内容は異なりますが、本学から課題を送りレポート等の提出物を求める自宅学習が中心です。

臨床検査専攻では、平成 26 年度入学生より入学前スクーリングを開始しました。

資格取得

それぞれ目指す進路が異なっても優れた社会人としての知識・技術・人格を修得するための教養教育と資格取得を目指す職業教育を行っています。各学科専攻において、資格取得に対する専門的知識の習得を目的に、専任・非常勤教員がその専門性・機能を活かして個々の学生の指導にあたっています。頻度の高い実習を通じて職業教育の実施体制は確立されており、学生は専門職としての能力、意識を高めています。また、企業での就業体験ができるインターンシップ制度の導入、資格取得を支援するステップアップ講座の開講などキャリア教育を実現するための取り組みを行っています。

経済的支援

学生への学内独自の経済的支援として、学業・人物ともに優秀な学生に対する特別奨学金制度、経済的に支援を要しかつ学業に取り組む姿勢に秀でた学生に対する沖永学園奨学金制度、柔道整復師の後継者養成支援制度、親族に本学の卒業生・在学生在が在る学生に対する入学金支援制度を設けています。平成 29 年度入試から、本学が定める基準点以上の成績の入学者に対して奨学特待生制度を設けています。また、民間金融機関との教育ローン提携等学生の必要性に応じて対応できる体制を整えています。経済支援を要する学生に対しては、例年きめ細かな対応、指導を行っています。平成 23 年度から 28 年度においては、東日本大震災で被災し家計が急変した学生に対する学費支援制度を設け支援しました。留年、休学した学生に対しても授業料減免制度を設けています。

2. 就職・進学支援

就職支援

就職支援はキャリアサポートセンターが中心となって行っています。教職員間で学生の就職活動状況、企業動向等情報を常に共有し、学生への個別指導・支援を行っています。また、就職対策委員会を毎月開催し、学生指導の密度を上げています。

キャリアサポートセンターの主な就職支援は下記の通りです。

- ・学生が自分自身のキャリアプランを考えられるよう「社会人入門セミナー」を必修科目とし、この授業で高まった「社会人になる意識」を引き継ぐ形で翌年度前期に毎週「キャリアガイダンス」を実施しています（ライフケア学科を除く）。
- ・求人情報の中から業種、職種、勤務地など希望条件に合わせて、インターネットで企業検索ができるキャリアナビを導入しています。
- ・面接練習、履歴書添削、個人面接等就職に必要不可欠な指導の他、公務員試験対策講座、教員採用試験対策講座等就職に役立つ講座を開いています。
- ・学生支援室ではパソコンを多数備えている他、求人情報、企業情報や先輩の就職活動報告書等の資料が閲覧できます。

- ・在学生・卒業生に対し、株式会社東京海上日動キャリアサービス、新卒応援ハローワークと提携し就職支援を行っています。

インターンシップ

生活科学科生活科学専攻生活文化コースでは、1年次の授業に職業選択の際の道標となる役割を持つインターンシップを導入しています。1年次の講義は、春休み期間に設定されているインターンシップに向けて集約されています。講義を通して、主体性、独立性、積極性を身につけ、社会に求められる「人間力・社会性」を育てます。自分のキャリアルートを創り、インターンシップ先を自分自身で決め、卒業時の進路を明確にすることを目的としています。

進学支援

帝京大学グループを中心に他大学と提携を結び、「まだまだ勉強したい」「更にほかの資格もめざしたい」、そんな思いを抱く学生の希望にも強く応えています。キャリアサポートセンターでは、編入説明会を開催するほか、各大学、専門学校のパンフレット、各種情報誌などを学生支援室に取り揃え、担当教員と連携をとりながら進学を希望する学生を支援しています。また、進学希望者には、個別に志望理由書、論作文の添削、面接指導等も行っています。

卒業生・就職先アンケート

卒業生全体に対する調査はキャリアサポートセンターが担当しています。平成29年に実施した卒業生に対するアンケート（平成26年度から28年度の卒業生1,110名及び就職先約500社）は、卒業生に対しては就職関連を中心に本学の学生支援に対する評価を主にアンケートし、就職先に対しては就職先が学生に求めていること、本学学生に必要なこと等をアンケートしました。

キャリアサポートセンターはアンケート結果を分析の上、教職員にフィードバックするとともに、社会人入門セミナー、キャリアガイダンス、キャリア関連の授業等に活用しています。

平成32年には、平成29年度から31年度の卒業生並びに就職先に対して同様のアンケートを実施する予定です。

3. 学生生活支援

学生の心身の健康等に係る支援

本学では、大学や短期大学では珍しい保健室が設置されベテランの養護教諭が配置されています。保健室の学生利用率は高く、心身の健康問題に限らず、学力の問題や経済

的な問題まで相談されることが多く、個々の学生への丁寧な対応と合わせて、多様な連携をとりながら対応しています。特に担任制をとっている本学では、保健室と担任との連携が日常的に行われ、学生に必要な支援ができるだけ早く、適切にできるように対応しています。平成 27 年度からは、帝京平成大学臨床心理センターの利用が可能になり、カウンセリングなどの専門的な支援が受けられるようになりました。

もう一つは、各専攻・コースや事務職員の代表で構成される学生相談支援委員会が設置され、学生の支援対策と合わせて、教職員の学生対応力を高めるための研修も重視しています。

学生アンケートの活用

学生が自由に意見を出せることができる学生意見箱を学内 3 箇所に設置しています。これらで学生から寄せられた意見や要望に対しては、教育的な内容のものは各学科専攻にて、学生生活に関わるものについては各委員会、キャリアサポートセンター等で対応を検討し改善に努めています。

学生相談支援委員会では、学生アンケートの結果を生かして「健康相談と合わせた健康教育の充実」「コースごとの特徴に合わせた新たな学習支援対策」「ブラックバイトへの対応や予防対策」などを進めています。

平成 23、25、27、28 年度には全在学生に対して一般財団法人短大基準協会による「短大生調査」を実施しました(今後毎年度実施の予定です)。本調査は、本学を選択した理由、学習時間、進路、学校への満足度他学生生活全般に係わる広範囲な内容になっています。本学での調査結果を全国の短大の平均値と比較し数値の乖離幅が大きい特徴的な項目を抽出の上、教務委員会、FD 委員会、自己点検・評価委員会、各事務局で情報を共有し学生指導に役立てています。

クラブ活動

クラブ活動としては、現在は、柔道部、バレーボール同好会、軟式野球同好会、バスケットボール同好会が活動しています。東京都私立短期大学協会体育大会、日本私立短期大学協会体育大会等に参加しています。

以上